



コウトリ観察新聞

小野小学校6年宮村優汰

1.はじめに

ぼくの学校からはコウトリの人工巣塔がよくみえる。ぼくは3月から7月までほぼ毎日観察した。どんなに風の強い日も雨がよく降る日もコウトリは卵をあたためていた。結局卵はかえらなかつたけどコウトリに興味をもったので調べてみた。

2.コウトリってどんな鳥？本で調べたよ

①大きさは？

羽を広げると約2m

背の高さは約1.1m

②重さは？4.5～5.5kg

③鳴き声は？

ヒナの時はピーピー

大きくなるとクラッタリングをする

④卵の大きさは？

約8cmくらいでぼくたちがよく食べる卵より大きい。

⑤エサは？

カエルトゾウヘビなど

⑥見分け方は？

コウトリの公園の

人がつけた足輪で見分け

巣塔にいるときにヒナにつけることもある。

赤黒 ← 緑青 ← 青

はがき



4.コウトリの子育て観察

6月2日(省各地の巣塔)ぼくが行った時には田んぼに親鳥がいてヒナ3羽は巣塔にいた。田んぼからもどした親鳥は、ヒナにエサをせがまれ、やっているようだった。

しばらくすると親鳥はいなくなったが近くに別のコウトリがやってくるといそいで親鳥のオスもメスも帰ってきてクラッタリングをして追いはらった。すごいなと思った。



エサをおとるヒナ



クラッタリングをする親

6月9日(省各地の巣塔)ぼくが行ったときにはヒナだけかいる羽いた。先週よりもヒナは大きくしっかりしている。帰ってきたのはオス。そこにメスも帰ってきてクラッタリングをした。それから親鳥たちは飛び去ったが、しばらくして帰ってきたのはメスで、口には木の枝をもっていた。ヒナの足には足環が付けてあった。ヒナたちは、羽をひろげて羽ばたく練習をしていた。



木を運んできた親鳥

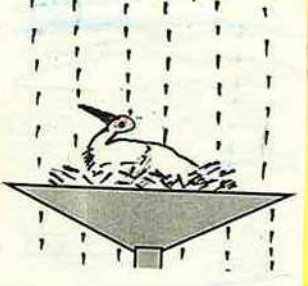
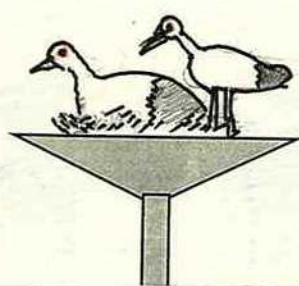


羽ばたき練習をするヒナ

3.学校からの観察日記(省各地の巣塔)

3月15日(金)晴れ

6月20日(木)雨



1週間ほど前から卵を雨がふっているがずっとあたためている。交代するコウトリはいろいろかめかかと思たら交代しおきた。卵をあたためていた。

5.感想

コウトリはきれい好きなのか、いつも羽を口ばしてきれいにして巣もきれいはしている。そしてオスとメスが協力して子育てをしている。クラッタリングの迫力はすごい!!特にヒナを守る時は必死だった。

6.最後に

一度は糸色めしたコウトリ。今は学校の近くで見ることが出来る。いろいろな生き物がたくさんいる今の環境が大切だ。コウトリがいつまでも住む小野の里が続くといいな。(参考文献)関ロジュン「コウトリのふるさと」佼成出版